

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/7/3 駐在員：山川 祐司

”慣れ”を要する度量衡の換算

ご存じの方も多いと思いますが、アメリカでは長さや重さなどの単位が日本と異なるため、数値としては理解出来ても、その長さや重さが即座にイメージ出来ない、ということが起こります。

写真（左）は、高架橋までの高さについての警告（14フィートと5インチ）（右）は自動車等の制限速度（時速25マイル）で、標識それ自体は日本にも同種のものがありますが、当然、表記される数字の単位は異なります。

私自身、身長をインチで聞かれて一瞬言葉に詰まったことがありました。体重の方は、こちらで購入した体重計で測定しているので、ポンドでの重量表示には比較的早くなじんだのですが、やはり他の単位も、実際に使いながら慣れていくのが一番効果的なようです。

州政府機関の窓口で体重や身長を申告する際には、係官の方が換算表を見ながらcm インチ等の置き換え値を教えてくれるケースもあるようですが、やはり現地の単位をしっかりと使いこなしたいものです。

道に迷って目的地までの距離を教えてください、言葉自体は聞き取れたのに、肝心の距離そのものが把握できない、ということも考えられます。初めて海外へ行かれる方などは、特に現地の長さ（距離）の単位を確認してから行かれるとよいと思います。



速度制限については、自動車のメーターもマイルで表示されるので特に頭の中でキロに換算する必要はありません。ただ、時速25マイルは概ね時速40キロに相当しますので、速度表示をキロのイメージでとらえていると、思ったよりスピードが出ていることになります。